

2012年 9月 28日

教育委員会 殿
学 校 長 殿
各科担当教諭 殿
教育研究団体 殿

筑波大学附属高等学校長 茂呂 雄二

第 62 回 高等学校教育研究大会のご案内

秋冷の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

さて、本校では、来る 12 月 8 日（土）に第 62 回高等学校教育研究大会を開催いたします。今回も昨年度と同様、各教科の公開授業と分科会を中心に大会を構成します。授業を 2 時間公開する数学科をはじめ、7 つの教科の授業をご参観いただき、分科会においてもご参加の皆様と議論を深めたいと考えております。さらに今回は、土井隆義氏をお迎えして、「流動化する人間関係の光と影—今日の『いじめ問題』から考える—」と題する講演会も企画いたしました。

ご多忙の折とは存じますが、ぜひともご参加くださいますようお願い申し上げます。

- | | |
|-----------------|--|
| 1. 主 催 | 筑波大学附属高等学校 |
| 2. 期 日 | 2012 年 12 月 8 日（土） |
| 3. 会 場 | 筑波大学附属高等学校（案内図参照） |
| 4. 参 加 費 | 2,000 円（資料代を含む）
社会人学生を除く学生・大学院生は無料 |
| 5. 参加申込書
送付先 | 筑波大学附属高等学校 研究教職部
F A X 03 - 3943 - 0848 |

※当日の参加申し込みもお受けいたしますが、資料等の準備の都合から、なるべく事前にお申し込みくださいますようお願いいたします。参加申込みの受付は、10 月下旬より行います。以下のいずれかの方法にてお申し込みください。

- ① 本校ホームページから
- ② ファックスで参加申込書を送付

いずれの方法についても、詳細はこのページにて、10 月下旬よりご案内いたします。

※参加費は当日、受付にて申し受けます。

※当日、お弁当の販売をいたします。数に限りはございますが、どうぞご利用ください。

※本年度の研究大会は、筑波大学教員免許状更新講習としても開催いたします。

教員免許状更新講習の受講者の方も参加されることとなりますので、ご留意ください。

6 時程

(分科会の終了時刻は各教科で異なります)

時間帯	内容	国語	地歴公民	数学	理科	保健体育	外国語	家庭
8:50	受付							
9:20	I 講演	土井 隆義 氏 「流動化する人間関係の光と影ー今日の『いじめ問題』から考えるー」						
11:00	移動休憩							
11:20	II 公開授業	古文	地理 A	数学 A	化学	体育	英語 I	家庭基礎
12:10	昼食							
13:10	III 公開授業 分科会	分科会	分科会	数学 B	分科会	分科会	分科会	分科会
14:00	IV 分科会	分科会	分科会	分科会	分科会	分科会	分科会	分科会
16:30								

免許更新講習の受講者は 15:30 より試験の予定

7 講演

「流動化する人間関係の光と影

ー今日の『いじめ問題』から考えるー」

講師 土井 隆義 氏 (筑波大学大学院人文社会科学系研究科 教授)

8 公開授業

教科	科目	クラス	授業担当者	授業テーマ
国語	古文	3年4組	伊藤 雅子	「源氏物語」の鑑賞
地歴公民	地理 A	1年2組	田代 博	地図で社会がわかる、かわる？ ー 主題図の効用 ー
数学	数学 A	1年1組	大澤 幾子	整数の性質
	数学 B	2年4組	大野 昭次	ベクトル
理科	化学	2年3組	古寺 順一	酸化還元反応
保健体育	体育	1年3/4組 (男子)	征矢 範子	陸上競技 長距離走・投てき
外国語	英語 I	1年6組	橘 俊一	生徒の発話をうながす授業の工夫
家庭	家庭基礎	2年5組	西 祐貴子	住生活の学習～導入の授業～

9 教科分科会のテーマと内容

国語 教材の魅力、再発見

授業を始める前に、考える。この教材の魅力はなにか。どうすればそれを生徒に伝えられるか、と。同じ教材を使うにしても、考える側がその中にどんな魅力を見出しているかで、扱い方は異なるはずだ。具体的な教材について、それぞれの考え方や実践例を紹介しあうことは、作品の新たな魅力の発見につながり得る。分科会では、いくつかの教材を取りあげ、授業実践例を紹介しながら、生徒への提示の仕方、解釈の切り口、発展のさせ方その他の問題について議論したい。

地歴公民 災害と社会科

東日本大震災から1年半が経ったが、被災地の復旧・復興が順調に進んでいるとは言い難い。また、原子力発電やエネルギー政策をめぐる議論が錯綜する中で、原発の再稼働も実施された。

教育現場でも、この1年、東日本大震災に関わる様々な実践が報告されてきている。

東日本大震災はわれわれの教育実践とどう関わるのか、社会科は災害をどう扱うべきなのかという思索を一過性のものにならないためにも、本年度も「災害と社会科」をテーマに据え、この間の研究や実践を踏まえて、議論を続けていきたい。

数学 公開授業についての研究協議

公開する2つの授業についての研究協議を行う。今年度より新学習指導要領が実施されているが、授業の中で、豊かな数学的活動をどのように実現していくか、意見の交換を図りたい。

理科 新カリキュラムへの対応

今年度から実施された新学習指導要領では、内容的に多くの変更が見られた。各校で進んでいる教育課程について情報を共有し、理科の科目選択の形式や、各科目の内容について考慮すべき点を議論したい。後半は科目ごと（物化生地）に分かれ、さらに討議を深め、授業展開案の交換なども行いたい。

保健体育 工夫すれば長距離走も楽しくなる

2012年東京マラソンは、25500人の枠に284000人が申し込んでいる。青梅マラソンの参加希望者も増え続けていて、まさに「空前のマラソンブーム」である。一方で長距離走・持久走は体育実技の中でも人気がない。どうしてそうなのか？どうすれば興味がわくのか？このマラソンブームと長距離走授業のギャップについて参加者と一緒に考え、乗り越えていく工夫について議論したいと思います。ぜひ、公開授業とセットでご参加ください。

外国語 新カリキュラムへの対応

分科会1：公開授業「英語I」の合評会を行う。授業者がどのようなねらいで授業を展開したのかを説明し、フロアの方々と意見交換をする。

分科会2：来年度から施行される新指導要領への対応を議論する。特に、Communication Iの授業で、「授業をどう変えるか」「教科書をどのように使うか」「どんなコミュニケーション活動をするのか」について話し合う。

家庭 住生活の学習に関する授業について

‘衣食住’と並べて語られることも多い住生活であるが、家庭科の授業の中では、衣生活・食生活の学習ほどには重要視されてこなかった。家庭科全体の授業時数が限られる中、住生活の学習をどのように位置付け、取り上げるか、意見交換を通して考える場としたい。また、新学習指導要領に向けての各校の状況など、情報交換も行いたい。